

分野	授業科目名	単位数	時間数	履修期間	担当教師
専門分野Ⅱ 精神看護学	精神臨床看護論	1単位	30時間	2年次前期～後期	非常勤講師 嶋田 佐和子

テキスト(発行所)	精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院 パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 照林社
テキスト以外の教材、参考図書	公衆衛生がみえる MEDIC MEDIA 国民衛生の動向 厚生労働統計協会、ビデオ各種

学習のねらい	精神疾患や精神障がい者の症状や経過、治療・療法をふまえ、対象のころや生活に及ぼす影響を理解する。また、精神障がい者及び取り巻く人々のころや生活についても理解する。症状、治療に対する援助や社会への適応、自立に向けた支援の実際と、これらに必要な精神科看護の基礎的知識・技術・態度および看護の役割を学ぶ。
学習目標	1. 精神看護の主要概念を理解する。 2. 精神看護の基本技術について理解する。 3. 経過別(急性期・慢性期、回復リハビリテーション期)看護を理解する。 4. 症状別看護を理解する。 5. 精神障害者の社会復帰支援、地域生活支援について理解する。 6. 看護過程の展開方法を理解する。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態・他
1回	精神看護の主要概念を理解する。	1. 精神看護の主要概念 2. 精神看護に用いる理論・モデル 3. 精神を病む人の看護援助の基本	講義 演習
2・3回	精神疾患・障害を持つ人の看護を学ぶ。	1. 急性期の看護を理解する	非常勤講師 講義
4・5回	精神疾患・障害を持つ人の看護を学ぶ。	1. 慢性期の看護を理解する	非常勤講師 講義
6・7回	精神看護特徴を学ぶ。	1. 精神看護の特徴を理解する。 1) 主要症状・経過と特徴 2) 診断方法と規準(検査と看護) 3) 治療・療法と看護 4) 生活に及ぼす影響と看護 5) 行動制限とリスクマネジメント 2. 精神科看護師の役割	グループワーク 非常勤講師 講義
8・9回	看護過程の展開方法を理解する。	1. 計画の立案 2. 発表会	ワーク 発表会

10～14回	精神障害者の社会復帰支援、地域生活支援についての理解	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者総合支援法;就労支援 2. 退院促進支援事業 3. 成年後見制度 4. 地域福祉権利擁護事業 5. 地域生活支援事業 6. 精神科デイケア、精神科ナイトケア 7. グループホーム 8. SST 9. 精神障害者の看護の実際 (生活訓練、訪問看護、ピアサポート、セルフヘルプグループ) 10. 今後の障害者政策 	非常勤講師 講義
15回	精神看護のまとめ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護のポイント (対象理解を深め、看護実践のポイントを確認しよう) 	講義
単位認定の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終講テスト 筆記試験90点 2. パフォーマンス課題 10点 3. 出席時間の80%の出席かつ1+2の点数が60点以上で単位認定する。 		
受講上のアドバイス	<p>精神疾患や精神障がいを持つ人々の“生きづらさ”、取り巻く人々の心理と支援の方法を、事例や臨地での看護の実際を通して学びます。精神障がいを持つ人々の人権が尊重され、社会で自立して生活していくことができる看護援助、支援の実際を具体的場面を通して、看護の対象の理解と寄り添う看護の方法を学びます。受講に際して自己目標を設定し、毎回の講義について考えたこと、感じたこと、自己学習したことを経時的にポートフォリオに集積し学びを深める。学んだことを精神看護学実習だけでなく、これから出会う対象との関わりやその理解、対象に寄り添う看護へと発展してほしいと願っています。</p>		